十二月中

0

商の預治産し、相場は毎月にの質はもあり、十二月に入り 比し一等品に終て武用乃至十

安東の商况機况()

△原木 紅松九圓五十錢。 松七圓五十錢。 落葉松七圓

月に比し一、二五一攜の彼少 相告計11、大九九福で最月に 比し九三大欄を増加、中年同 比し九三大欄を増加、中年同

○製材 紅松十五圓。杉松十 一1圓。落菱楼十二圓 は十二月中の木材輪移出高は

連絡運賃に就ては隣接破鑽運して地方民衆の便宜を計り、 のるも日下浦ツ南者間の意見

認識不足も甚し

米誌の日露開戦観

物度見込み得さなるべし 検言すれば蘇州勢力が単常に 検言すれば蘇州勢力が単常に

米酸マーション一九三 四年一月十七日製輸説 四年一月十七日製輸説 の本での場合電機型の一次五ヶ年 計畫の必然的場構の一なり、 然れきも蘇明延期さなるべして考べられて無路が攻勢に出でざるべし して考べられて居る権力を整備のことさ して考べられて居るも日本個

を さしてけいまするは 国際に 就では 会さしてけ 賛成なる も 壁に 会さしてけ 賛成なる も 壁に など上 多大の関係を有し、一 女上 多大の関係を有し、一 女上 多大の関係を有し、一

「奉天間地」預州は南北を棚じた市協に出種る芯には至ら中だ市協に出種る芯には至ら中だ市協に出種る芯には至ら中がりのきしてこが奨励には全ら中である。現在領海には全場でである。現在領海には全場である。現在領海には全域である。現在領海には全域である。現在領海には全域である。

て實施方法に付具体案参究中を決意し、議例制機を協力しを決意し、議例制機を協力し が、確かなる筋の消息に依れれる状態を明の形をなつてるためで表別の形をなつてるためで表別の形をなってるためである。

日本品のみの 購買組合設立 白系露人が赤系に對抗して

本線に點々飼育せられてある。本線に點々飼育せられる、吉林方面に於て八千箱、南蒲市面に於て八千箱、南蒲市面に於て以前二萬貫程度で南蒲市面は入い北山極めてで南蒲市面は入い北山極めて一千貫程度に過ぎない。 大使館附武官

新京輸入組合

「ペルリン十日最調通」ドイツは今回大使館附武官に任命した。氏大使館附武官に任命した。氏大使館附武官に任命した。氏大使館附武官に任命した。氏大使館附武官に任命した。氏

萬一千百四

住宅、電話 等

話低利にて金融致し

流質留安喪

屋多博士第

今

當

地

T

素

睛

0

庭 - 般 6 珠 ¥ 1 50, 0 0

評

番

T

す

一月分成積一月分成積 一四四四十二銭也

六百八圆四十二组也 一千八百五十四也 也 月中残高金二十六萬七千 現地金三萬六千七百厘

二、內地金六萬二百四十四

戦しも質はなくうできない。

も質はないので、彼は、野ひ掛し

『観、東頭へ行きたいなる-

大光作の出來ばへは日本一!! 新興議洲國の上に光輝あり!!

皆

様の

嗜

好

3

T

0

かる

び

何

故

匹雛人形大賣出し

この優美さに この 康 價は…

第二次五ヶ年計畫は蘇柳を非常に整化すべしさ思科せられ 第65ミころ年一談計畫は獲西 比利亞接近煙道に並行し歐洲 より太平洋岸に至る新規並ら は新鐵道速費を包含しまれる 四、合外金十萬一千一百四四、合外金十萬一千一百四 相合員 識洲銀行及正降 「はあ、さうであります」」

「お出から、戦も弱く、東京 ったんだよ。そしてお気ちゃんと ったんだよ。そしてお気ちゃんと

速れで行って

で行きたいなあー

- 木二、東京へ

と親つめてゐる。

中間は既はず釣り込まれた。といった。

が、使用人員九二〇 に数九二、使用個所六 それは、演覧中佐にも、ちゃうと、態歌と聞い齢でらるの別の子があつた。中佐の世征後は、師師のの別でも、中佐の別別をいってあるのであった。そして中間のであった。そして中間のである。

だから、いまの中佐の言葉を考だから、いまの中佐の言葉を考して みると、その思い 部中 は、 原理を疑いの味もつてゐると
とを感せずには聞られたかつた。
中間は、原理を疑したすると
その影印の表現であると。
その影印の表現であると。

銀器

中谷時計店

定

洒

北鐵運賃値下、國幣建

に前次生産局も増加する形勢

常態に復す

在既に對蘇城争を開始せざりて製盛さらるここさなるべし日本が現

ノ聯側同意か

金氏バンドウラビ重要會見

須賀中佐である。その歌源と祝男 で葉は、峻殿と観査とで聴えた で葉は、峻殿と観査とで聴えた。 で葉は、峻殿と観査とで聴えた。

日本軍が受勢なるここは一點で開発は軽信権大の石油坑占で開発を開発の必要を給ける保護軍に出し **明報大ならざる内に日本の軍** 現在の加く蘇聯の勢力が比較 がないないとしては思ひ懸けないととであ いふ優しい言葉を聞からとは、中 いふ優しい言葉を聞からとは、中 のなりとしては思ひ懸けないととであ

ところなり はころなり ところなり 一丁干原中島、君はまだ控動がな だらうが、親のむといふものは、 概能の例で、既は既はず、計覧

は、返除に残った。さうかといって追究されると、中間 て駅の野るところは分らないとい 掛しに行くんだよ .45 -- そのお母さんと

のし、また出版目をいつて少年を知 くことは、簡更出来なかった。 のでは、前更出来なかった。 の如し、難らし戦つてゐたが、

金華堂へ

京楽賞・張専門にしまやにしまや

生命線を (荒川 芳三郎

日日県内

料理洋

中四條道を記して記して

を吹かせた。 を吹かせた。 やうど跳へ向きだ。子供を一緒に 郷職かつたが、粉盤まじりのほが 茂起は、個も知らずに、中間の

は当日館で 電話三人〇二番 屋護り渡びお出話

と、彼は、不思慮さらに、中間に が、やがて、性難が進行を始める まし汽車に乗り込んだのである 「い」度へ変で行ってやるよ」

虚には、お母ちゃんがゐるので」 (日文主 八、大、三種丸は 長権神名望のかは 電話四大〇六番へ

高價買入

小貨 金銀資金

水質家 實業新官更 前票都接到(申請三人六西)內 僧

報誌販賣開始 滿洲總數府公将

おの二番自宅場町二丁目二七 0

厳 行 1 1 5,0 0

向

・月賦販賣の御

相談に應じます

現金五分引

障は無料交換

真空管の自然故

以内に生じたる

取付後一ヶ月

やけるのがにのみめのないのからのが、のないのからのからのからのからのからのからのからのからのからのからのが、 金融 粉京公司 し金融は多少に木拘御相談に取引迅速正確、取扱極秘、但 年にバス内の接き欄を御利用住民生口は効果能大をる 全庫電話四九三〇六七番

稅所秀昌

歌組アリ医別知ラセ

向 一、一ヶ年間調整

一、一ケ年間自然 故障は無料修理

サービス無料

大 廣 間 向 7 球 平 1 6 5,00

V. ル I ヤラデオの 販賣特典

で京の満電 +

着荷案內

二五九四年流行新州豐富着荷致し ました!!

商 看給三〇九二番

取炒高金一萬一千八百三十六。 商品券 取扱高 本月中

中間は、顔見似める言葉に関し だで、下からその職を見上げなが だなつたととを知らず、今でも取りでなったでとを知らず、今でも取りです。 いまにも泣き出してしまひさうだ ら言った。彼はもう暴露になって 京に思るものだと、一個に依じて

この上頭、脳関のととを、いる

群 (抽末) 之 役 に 品 針 物 も

吃度皆様の御氣に召します ベルエヤラチオを御存知ですか?

6

す

3

致

百貨店

新京日本橋

たメフセータを披露して

に於て十二日の本會額に上程 (大班國班) 十一日用委員會

識で討議

十二日本會

明に第一国大會を大連に贈信 管協語の結果、明年適當の持 時半よりママトホテルルに開 時半よりママトホテルルに開

高では次の奴命コムモユニケ 受員會散會後年後五時年事務

就くべしまする意見を持つの目的達成のために各個民

コムミユニ

ケ發表

支那代表部

某地に支部設置を決議

安南代表决議

「大本國通」 亜糖原民族大會 支部代表部は大會支部を○○ 支部代表部は大會支部を○○ 支部代表部は大會支部を○○ 大本國通」 亜種亜民族大會

事務所に終て帰着され同四時間別委員會は十日年後準備會

一、信成

かいないかや

単細亜民族聯盟の結成

一、連細亜に跨プロックの

トラクター

何と使用一ケ年

ソ聯自慢の

の意見は全く一致した、各族解放運動に助する各代表 代表が最も幾心に討踊した

ねばならか

反への俳大なる黎明で云はた。これは自主的亞細亞述

日の倉職に於て亞細亜民

亞細亞民族聯盟

玆に結成さる

【大連閾通】 亞綱 亞民族大會

の指名に決定して休食した

見たので各詞代表提出議題共すべき二議題案其他の決定を

大會を明年

聯盟事務局で

人連で開催

● で封縄の上本準備督修了に際に十二日午前十時から本管扇

様左の如き勅語を賜

全亜細亜民族の

盟の件

晴れの華府入り

るが、余はたんなこさは絶ちやうな説が係へられてゐ

時にある得ないを確信して

を要求するものなる事を中 排斥を高調せず調整的水平

岡本一己氏

黨籍を除名さる

ル大統領には來鴻鵑見する の上。一應顧朝する心算だ の上。一應顧朝する心算だ

今回の大會が徒 6に白人

外に壁倒するこさ

各國代表

熱心に討算

就確を染名するに決し之が手 の放发骨の関本一己君に對し 政友骨の関本一己君に對し 政友骨の関本一己君に對し 政友骨の関本一己君に對し 政友骨の関本一己君に對し 政策を終名するに決し の表端院本

政友大同團結派

近々聲明を發せん

下に称し重大なる支障を惹犯

概念をさつた

いふに意見一致し、一切を大

午後近時十分散會

さし、幹部に提案しその考慮 泉大同職権の主旨目的を文書 総派の数氏は十日表協職の結

を求め、又當代籍士にも配布

する温れあるここ時の緒點より新法律に依る質上質精算定 上異の新平仮を目標さし之に 上異の新平仮を目標さし之に と異の新平仮を目標さし之に

容易に暗示せしむる如きこさ

野々の策動に疑惑の

最近速境地方に於ける英國の本問題は詳細判別するに從ひ

同團結統

制なる

紀元の佳節をトし大連で

準備委員會開催

畏し恩赦

の詔

書

百僚有衆夫レ克ク股カミラ体セヨ帝ニュリ特の有司ニ命シ思教ノコトラ行ハシ帝ニュリ特の有司ニ命シ思教ノコトラ行ハシーの展立を開き、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般 **換發せらる** 紀元の佳節にあたり 腹とう同シクセンコトラ念と紀元ノ住の思赦の韶番を戻せすらせられた

二月十一日

那 石 華里

ラムコトア生ム 宮相謹話

内外使臣に

勅語を賜ふ

非常時の紀元節

山本内相奉版の奉答文は左の「東京関通」際向首相に代も 首相奉答文 國梅大臣副者

理上陛下には同仁越深き大御心より逼く優びを同じくし、仁澤を及ほさんでする御思召を以て紀元の佳節を御思召を以て紀元の佳節をのはない。 思教を行はしむるの聖旨を下し給は 日中回の風敷に関したの如く 「東京國通」湯淺宮相は十一

位である 法相謹話 信石は二十五萬から三十萬

賜ひ展大な御仁徳に只々感辺がありまして宸禄を患はし恐がありまして宸禄を患はし恐がありまして宸禄を患はし恐がありまして宸禄を患はし恐がありまして宗禄を患はし恐がありまして。

紀元ノ佳師ニアタリ親家ラ 競斗各國代表者並二諸大臣 競・コノ歌とア共ニスルハ が二友邦ノ元首ノ健康ヲ祝 が二友邦ノ元首ノ健康ヲ祝

「泉京國曲」 思教令に依る滅 一名、宋執行さ假釋取者の滅 千名、宋執行さ假釋取者の滅 千名、宋執行さ假釋取者の滅 一名、宋執行さ假釋取者の滅 一名、宋執行さ假釋取者の滅 恩赦に浴する者 質なるものありで信か 序書に感銘するこさ一層切 一長 ころさせられ且つ便通りである 臣に代り聖恩の原含を謝したの重りに堪え中。臣官群をを動植を賜ふ。臣等群 質酢の無鉛を町の半

氏は左の領き事答文を奉 ギー大使パワソム。ピエーか〔東京側道〕外交欄代表ペル

外交團代表白 し本使等の元首に於て る友誼の袋々密接ならん

使等の機関するさころなり

恩赦勅令內容

復権の者に就ては十一日

何れも感泣したさ

「東京國通皇」皇太子殿下柳野 生につき長き速もでは頭のる はさせ給ふ有難多思名しから いるせ給ふ有難多思名しから 要點は左の如し

日記元の住職に書り長くも思 教の韶青を護・せられ、之さ

一、死刑の者に関しては無罰の確定せる者に就て行ふ

官吏持償免除者の結動令が公免除令。網護士懲戒免除令。 令第二十號) 懲罪懲罰免除令 地力中自懲戒免除右海日懲戒

減ぜられ無明懲役さなり、又 思赦により死刑より刑」等を 言まれ、殊に佐郷屋は今度の 合まれ、殊に佐郷屋は今度の 六日死刑の判决を言渡された公した者の中には惨年十一月

佐鄉屋無期

恩赦に沿し より前の者に耐して行る 社會事業團体に

を賜はる 御下賜金

「東京城通」長少種もでは内 「東京城通」長少種もでは内 「東京城通」長少種もでは内 「東京城通」長少種もでは内 「東京城通」長少種もでは内

英國の支那邊境に對する策励 益す露骨化す

「上海十一日産組御」を選案 對英感情一變化か

往來

を重見の交換は中らね 中機は誤解一振のためか 6

退職金の *

仕拂娶求

北鐵馘首從菜員 ▲平田学佐(職業軍間令部)同一事總部令系書課)同上事總部令系書課)同上
十二日午前九時費多中間へ十二日午前九時費多中間へ

濟欄

Cハルビン調酬) 素に抜きるれた化粧従業員代表は北級の二月十日寿在の在庫金を買べた上、七百二十萬金ャープルあるからこの際連続や、積立あるからこの際連続や、積立 いつた要請をした

首都新京の 紀元節

M体代表其他一数市民参多、 の日新京神社では午前九時半 より荒木郷カ事参所長以下各 より荒木郷カ事参所長以下各

六五三二 月月月月 限 長限 限 月月 **神月豆粕**

某官廳 二名 至急入用

厳かな振拜式を行つた

日蝕觀測隊

小學校卒業程度の學力を要す 御希望の獨身者に限る手當面談の上相談す 高等年令三十歳以上四十五歳以下住込但し 方は老松町八番地トミタヤ迄

店 78

事数にも切れ、飛行影響の如 だき職事常職は丸んである を認識し非常時を数はんさす - 単校も百名に一人さいよ敵戦 を認識し非常時を数はんさす - 単校も百名に一人さいよ敵戦 (南洋トラフノ島九日食暖通) 特ちに待つた日蝕の常日十四日もあるます所五日に迫り、到時ちに待つた日蝕の常日十四日を設果既に二旬に並んさする今日豫型外の離工事になやままれた歌測量のコックリートを超工事も漸く完了し精巻核の単位工作も九分通り完成してローソフフ島の東京天文養班。 ・ サーン島の京都班回れる大小さりでもの経済検の群が島である。

百人の收容に

に確案する副内蔵金保存法案(東京関連)政府が近く翻會 けしめ、その質上信息

で九十七%「「スペピン園通」な地に適した情報によれば昨年来ソ聯邦は文字通り園家總動員で農業の改善、多收穫翻串に基準するため極果に二千数百畳の・ラッターを輸送し各地最場で使用中の第一ヶ甲側の今日使用中の第一ヶ甲側の今日使 一、質上價格一匁十刷さずれ高一属質を見て 一ク学の周門産会見込御を最

代表絶勲澄氏を、顧問に領徴・では火きル曼に資社日補別価では火きル曼に資社日補別価

民族運動はこれによつて統制され民族。解政選輯は参連に民族運動個体の連絡を関り、自主的亞 観空の経験を目的さし、そ動側体の連絡を関り、自主的亞 観空の経験を目的さし、そ動側体の連絡を関り、自主的亞 観空の経験を目的さし、その職員は重細 亜氏族解欽選問を観を組織することになり声 務局の協案により亜細亞民族等を投資するととになり声 務局の協案により亜細亞民族等を投資するとのであるが、この署 間成立により亜細亞民族等を投資するとのであるが、

飽觀澄氏

大會會長承諾

さして政府の日銀借入金さ

産金法案の重要點は

年惯切下

基礎を何れに置くがは の質上が得ることもなる が質上が得ることもなる が質上が得ることもなる が質上でである。 の質上が得ることもなる の質上が得ることもなる

一次方式 一 の平信切下 を は は ままな もので 最 も 注目 を られる事 ろであるが 従来の を く 現 没 信格を 考慮 する 命要 のないここ。 政府で 産金を 記 内に保有せんごする 目的 は 解 本の金本位 復帰のための 準備 本の金本位 復帰のための 準備

格の算定

かを観明しソ聯が振外に実体ない るものである、但し旅がたは に移し此の非常時間を継ぎせ 質問中にある大同職結を實行 を申告せたが。右は今間登票 と申告せたが。右は今間登票

して意大説されてゐる

情は一大変化を齎するのさ 見はる支那

暫らく備らきかけね事に决定 るものである。但し驚外には

があるので、欧峰は富盛勝會 於ては密輸入を誘義する危險 なる影響を與へる試れありあるば直接間接各カ面に急激 に於ても此點の

一方具日口 は断子一蹴連する方針である。但し新く一ヶ年前の買上差損一億闘く一ヶ年前の買上差損一億闘いがある。但し新り年の産金数量を一貫質がら選集するご買上價格最高十年個迄火軌平便最低三分の一に迄切下け得る輸地ある事は往目すべきである 誤報だ

(東京國場) 長近傳へられる 明倫智で國民及集選會での合 地倫智で國民及集選會での合 壁明を發す

志願者一万を突破 見よ軍國日本の豪華

の被告の中。古質。三上。黒 年)等も各々刑の四分ノーを 被ぜられたが。五。一五事件 の被告の中。古質。三上。黒 定五。一五事件指軍側被告の登録的裁判援助の目標さなつ 米海軍頻に 太平洋上長距離飛行

眼を代表し本使等使臣の敬陛下紀元の佳節に省り外変

ロ無役さし、無明禁錮に計 の者は比年の有期禁錮に計

しては刑の執行の始まるをい有明の懲役又は禁錮に触

い者に對しては刑別の四分

ノーを減じ、刑の執行をは

ノー以上になった者に對しじめ刑の執行が刑以の二分

は残刑明の二分ノーを破

岩。 中村。 山岸。 村上の大名は今小管刑務所にあつて護奮の外は風船張りに除念なく。 無心の子供等が彰れる紙風船によつて子供の心に組織を思いまつてみる彼等は異数に沿して

重罪の者に耐しては減刑不敬罪、殺人、強盗等特別

間の編除飛行に琥珀した米面 を行ふこことなり電場不動行 を行ふこことなり電場不動行 を行ふこことなり電場不動行 を行ふこことなり電場不動 では世形がのかく観視行 を行ふこことなり電場不動的 では十日がのかく観視した 米職事事機三査は西部諸島 の返現飛行を横さして来る 十三日午後電場を出発、 でファウエイ島に向け夜間飛 行を行ふ告である、これに 先定も米面特務総ライト競 ナンフランシスコ、ボノルル「ホノルル十日韓間県」 義に 今回は真珠灣、ミッドウエイ間

新ライト就は別に二番の角 工を経理飛行を行ふ物定で ある、十二8美珠網より出 ある、十二8美珠網より出 復傷の距岐は約11、21百哩 ウエイに到着するがもファ ウエイに到着するがもファ ウエイに到着するがもファ 十日正午員殊職を出港する を待つばかりさなつたが、扇 様方側は二月に入つて折返し く開閉に入り、天候が少しも をまらか折角の苦心も無情な されがあつてはさ一行は天を 仰いでその時間の快時なるん 國産ゼラテン

▲上海日本向

機を異へだが我か飛行線では の馬級品が製造されず、全 が順品を液ぐ高級ゼラテンを が順品を液ぐ高級ゼラテンを が順品を液ぐ高級ゼラテンを が順品を液で高級ゼラテンを が順品を液で高級ゼラテンを が開始を表したは 高級品 高橋氏發明

である。複領の距離は約二、

未

| | 養養

十二日午前八時三十分發哈

11080 大田で

記念を

100 100

海外經濟

限 横濱生糸 交流 100 元素 100

文具品商、病氣歸國ニッキ商品及一切 獨專的非常ニ有利ノ營業ニ併セテ島級 在哈爾賓目拔ノ大通リ繁果ノ傷所北瀬

タシニモ適ス御希望ノ向バ下記へ來談アリ居拔ノマト格安ニ畿リタシ他ノ何商賣

新京三笠町 梅座旅館內

坂出

新

つて詠じた

「東京家通」伏見宮博義王 「東京家通」伏見宮博義王

製職場の范家屯肆に到着した

は約十分で午留十一時五十 列車に乗った。南に走る汽車

二十分休憩後等時十分から慰

三唱直ちに歸りの麒麟祭場行

で、天皇陛下、挺進線の萬歳終つて四戸卿令分會長の首明

能念撮影。

行二百名余りが乗つた臨時到者の三十周年慰霊祭泰詣る一 挺進峰戦死

田范家屯 地方 甲杨妍 主事代 常時の中谷中隊長の祭閥(闘

和歌

本は十一日午前十時

伏見宮博義王妃

女王や御

没者の眠れる范家屯の墓に誰

長永沿中時が田村、望月明の 長永沼中勝が田村、望月剛吸いの三十一文字の歌は時の鈴

永沼挺進隊 いどしめやかに執行 琴列者實に三百名を突破 慰靈祭

四戸聯合分會是。一

の挨拶あつて午後零時五十

E.

94

らん」その普打ちこほちたる思が る黒がねの、棚をぞれやい 新頭合何観播小脇に停車した 花を映かすうちに早くも現場 では、単中懐古談に のが午前十一時二十分、直ち 島特

いまのたく香煙たれこめ、棒配会件前で競響をなし、参 であつた。 軍人聯合分會代表。 新京職道部代表。 新京田驛 代表。楊東市代表。附滿海市

マであつた、鏡いて来串奉献でなるのものとシー が氏子様代、歴戦者代表(佐藤 一戦友一を慰める生

曹野市に 一年後三年に臨時列車で 屯地方事场所仕るしの祝杯雅 にあたへられた俱樂部で范家 路譜で印してるたさいよその 一歸京 しく見て遊食休憩場

枕木に「椰よ幸を異へ給へ」さが彼多一男士の遺骸のそばの

正面に保存してある敵軍路

四正大

高水與生深井野尾田深

音 新 財 財 京

場に変を見せ、鉢巻姿も勇し森田司養も好きさ見えて試合

個。毛皮付支那服一者を騒撃・一二面。金浜輪二個、耳輪一上三面。金浜輪二個、耳輪一規刀をもつて脅迫し現太洋三規刀をもつて脅迫し現太洋三

4

w

滿洲里

協和會の山口次長、交通部の

十一日午後八時空の城内新立

三人組强從

泽

組

縁をあけて氣勢を添へ、雑に 上野氏に十五枚ばかり積して

城内に

七零

佐野夫人

(新京)

組

はき青い袴はいてゐたが、まな子根で優勝した毛々會社の

持するにいたらなかつた。

逃走した、届出に接した首都

るで女學生の感じ、試中見物

人の一人が日く、

特余

(四平街)

眺めてゐた

(研京)

い選手の試合ぶりを飽かずに

の記念碑

能者はこ

氏撮影特に本社へ答贈せられて 高麗は昨日の慰霊祭夢到者

爆破に参加の 佐藤さんの喜び

常時を追想して語る 群さに語って最後に けふは非常に嬉しくてなら

奮戦目覺まり

優勝盃惜しや吉林文

〈選手へ

本組かるた大

一會終る

耐望月上等兵さからに永沼挺(中島特派員養) 彼の旧村大

て新聞合機機爆破に参加した進降に加つて苦樂をさもにし

まはこの席上に現れて來て 壁の镁古読を盛んにして くひられた様な気が 輝かしい紀元箭をトして本社

なほ范家屯地方事務所主

度まじく大智気分積溢したが は婦人雄で定則まづ原平試合 しこれを迎へ待つ、 選牛の意気

にき熱心な動衆は普場開花 これより先きけふの戦况如 界の先輩上野氏給め各面 から寄せられた御好意味にかるた大會に當り、各方局 **新京地方事務所社會深。**

びに堪へません。臨時列 列車運轉が出來たときは

来始のてのこさでせり

開始つて以

大和通りの

年さ一騎 打を待 壁る れて を懸迫しつもあつたが、同の奪酬後じく終始地元新京 代選手、遠來の文選がこれに代って熊 して母堂逝去の悲なに接 から端鮮第一を跨ち吉林女選

午後一時二十五分鏑火した。海如力から出火河家半鏡して海如力から出火河家半鏡して

原因は煙突の不完全から

質に欣快に堪へない、

れるま

歸順申込中の

太平匪寢返りをうち

中島指導官等拉致する

及は中華えある優勝盃は選 からのあつたが技術の差離に 対方め、最初は大抵に見るが 手を迎へて奮戦これ

料年街をの他の遠征軍 がかり、直ちに強選に入つたがかり、直ちに強選に入つたが強選は前後三回に亘つて引動き行はれ午侵六中半漸(終 幹事からルールモの他の説明さ開會の挨拶を述べ次で熊代 りである」

深く感謝する」

開社の和大なる即好意およ

びであり、本大會復活に對 して與へられた祈泉日日新

に至つたこさは此上ない喜

程に芽出度く閉首を告ぐ よつて本大會がからも盛況

一夕食一をけまし午

仅活帯一年の本計 野村吐育主事の發酵で全端か る訓酔を述べ都京地方事務所

四等 等 等 祝安中足野熊女 同 同 (新京) (吉林)

六 五 等 七等 自己 (a) 同じ 同

馬一匹を拾つた

トーに精進する由である 七年の経歴を有する吉岡直要 七年の経歴を有する吉岡直要 大阪高島屋富貞都で管地練磨 **吉岡寫眞場開店** B)

落しもの

春氏は十二日午前十ほごろ荷野町四丁目選番班内牛杏 大和護士一番地光明で支部を氏は十二日年前十年ごろ

氏は十日年借八様饗宴様か

を落した

部落民一齊反對

鎭壓に軍警急行

新店名「一

秋町五丁里芸 影 様 安

進

安

B

拾圓也

器押收

に

から仕方がない」

店名當選廣告

張家灣部落の出來ごさ

岩り致します

せ

右佳作の方々には僅少ながらすし、當り失、鳴戸、すし徳、笹舟、奴」は作『討入』すべりこみ、滿洲一、うきな、

し券を御

すし頭い

▲城内三道衛客馬車央潘巻に 氏は十一日午後八時十五分 ごろ是春庫前で石鹸三個を 拾つた 本を容易車上に置忘れた 本を日町四丁目大林繁雄氏軍 ・ 本を容易車上に置き忘れた 6自宅に歸つた際仕込状

撫順炭の

▲國際經費局大井良氏は十日 年後十時ごろ歌町一丁目で 容馬車から下車の際最変書 順を設き忘れた 九日年後大時ごろ軍刀一振 ▲日本橋通六十番地楽山屋では十一日中後五味三十分で 大理金二十川を窃取された 本日本橋通八十二番地金子正 氏は十一日平積十一時ごっ 氏は十一日平前十一時ごっ 氏は十一日平前十一時ごっ た中中線時計一個『黒皮製 パン『一本を窃取された 一日本橋通三十五番地金楽臣 「一石黒仙次郷は九日午旬 中自興車一台を窃取された

舊正月も一日も休みません。

御用は是非一

配達致します

液木石間 の 花音 管

戦 二 京 公

第一点 ・ は 美 え あ る 優 群 ・ は 美 え あ る 優 群 地元新京軍の一 图格斯...

大五等 上面 平 加 井 鎌

かなあ断然俺は優勝するぜ」であれる一人賞品に見れない。 かるた會闘會前 既に場内は出場 民に場内は出場 でころが見物に でころが見物に

4

日綱模範試合を行つたが、一キャピタルの上野氏を捉へて、けきな道さで耐まんなくなり ないなり、あわてたなり」奇枚を取るごとに「敵は手が出 円地時代からかるたで鳴らし キャピタルのダンサー三人が 自に加つたが、善級部に及ば 自に加つたが、善級部に及ば 中松村嬢に名を成るしめた。 上野氏婦り途に曰く、「この 大の會には十日ばかり前から ホールを休んで練習し優勝す るんだな。今日は練習し優勝す 上手でも母業はごっだらっか 「あの負け中嫌ひなさころを 見るさ夢業も人には負けては のないだらう」

出来ない旨を告げるさ「いく

総人組合の最品はその後、温

割 美酒住者 B A

焼されたものである

市内富士町四丁目満洲画資業和の職人が訪れ夫が不在中妻女章氏に對し「自分等は司法女章氏に對し「自分等は司法女章氏に對し「自分等は司法女章氏に對して関づてゐるかが今靴が破れて困つてゐるから五十個を出して見れ」と強 偽刑事現る

一時から更に生徒のダエキを 輸入組合の

引換のこと 第五郎格子 大連十四日より待望の明らか 大連十四日より待望の明らか 本大事との発 飯山螺子 主演 をすったからにや なったいというにや (記) (記) (新京) 生はさてもっまい。 高高陽曲

四五六 等等等

石田大人

佐 育 野

淺井藤

000隊出火

婦人組

十一日年前三時二十分ごろ南 温駐屯線から出火した、急程 に接した備州政消防線並に新 八に努めたが水小足できるすべんに努めたが水小足できるすべんなく忽らにして換瓦が五 西五十坪を全焼し同五坪領火 した、損害二萬一千國。原因 であるが同勝舎は昨年八月新は日下城内郡兵分離で取興中 育々哈爾平前七畦養癌拉爾 年前十年著編所里平前十一 時二十分員縣拉爾平後零時 三十分普齊々哈爾午後零時

新京商業學校先徒通學牛角田 商業通學生

自集(一九)君は十日赤綱を列りすが優出し事役並に寄宿舎は大が優出し事役並に寄宿舎は大が優出し事役並に寄宿舎は大が一川日午旬十

本を深き湘南の海邊に清くら関 下加茂特作雑誌キング連載 子母等電 東が続チ 子母等電 東が続チ 子母等電 東が続チ

十二、三日二日間限りま存率率任週間科金五十個公件半手で第田組特作映書名匠五所平之助単生の魅惑器を成立中で記した。

急に引き換へられたいさ 日出中佐 ハルピン

た、目下回署で犯人捜査中では当り章氏から顕然三国九十四段を取り逃走した。不審を抱めた事女は責に新京署に居出 が多し。 東方十五日を以つて みるか。 未だ取りに來ぬもの

に就く等である

航空變更

優着時期を次の通り受更した 開補所里間定期航空回数及び

À.

運航河數每週水罐及了金曜

のご回で一往也

设备

の総へ題って立場をした。

龍角散の特効

配て学兵事は、

草院の足

音を忍んだ三不は、職

刺那であった。

(9

上げにやならんから

「イ、エお栞月の外ですから

七赤の人 内粉に心を痛む

さ事を共にすべく功績患ろ

学座を分けて人

三平は、小石川水道艦の大川都 **射元職べ(国)** (百七十二) 難さながらも戦つてはゐられなか 直で解室の総から、小殿で。 「お願さん、ちよいと」 長 呼ばれてハッとしたが、お離は

飛戸機の如く危険多からん

あるべし開店普請轉宅亦吉

丁で辛を主か古

勢には東中心から中

内さ度が古

りました。鉄土の灰汁を無見に動す。銀方の宮間でお泉水を見に動 だが興館へ入るなら、一寸上へ申 門番は以前來た時、見知り職だ 「オトさうか、御苦勢ちゃの・ 所へ……」 第一安は滑えて、 つた。 「離かと思ったら、お八屋さんの 怖々様の除于を開けた。それは

「福三」の即将天を、島見よと言いな解りに、メン (庭へ題のて か で、私了丁度好かつた。コリヤお 「今れ、貴女のお姿をちよいと 『アトさう(一個木屋さんでした 歌へお館仕事に來ましたのです こく 質は親方の言附で。四當

一寸邦則だけで・・・・・」

の九紫の人 丁三年三段六百 易し希望計画あるも地むな 一刻を申ひべ励するが吉 緒事沈滯を生じ

の方は、見向きもせずに、勝窓の

三大阪商船出

日。

の手當と豫防

乳児の

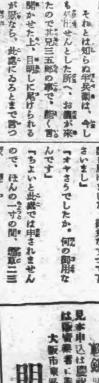
死亡率は最高

◆ 計屬商权助 本部回题運輸會社支店 本部回题運輸會社支店 新泉川県所電話四〇八九番

た助かりました。(以上連続反響所載) を、出そうになる咳を抑へでもお 腹に響いでほんとに弱りました。 とれを龍角散でこゝろよく止めほんと これを龍角散でこゝろよく止めほんと

大阪市東級的種間一丁目 大阪市東級的種間一丁目 大阪市東級的種間一丁目 帝制體一徽章

さいまし



脚語へ、使りの存無を聞きに載る」でから言って、出て行ぐ終于に、 と 然らばされより輸出三河町の飛 東元水浴器を重んで來たのに、 一年の感激ない者といふ事は、飲み 三年に難して 「御門館でちよいと」 お抱も否めなかった。それに三 別分があった。

夏四千八百为千三

三年は実験をラヒョックリ出た三年に実験をのはへ、全要は公認立つて、 こ人は門際の前へ食味した。入 る者は松めるが、出て行く者には ツイ展物を実験けて、三千と共



大四十人四二 十十人日日日 百日日日日日 中分分分分中

三二一五三二 價 +++ **取货票据数额**

マ全國各樂店に

あ

h Δ

中期田 温 景島で

悪性 0 喘息」とレントゲン

●五黄の人 幸運は更に一層

人に交らざれば隔絶を生す

の努力に依りて苦さなる日

及び家庭薬物療法

診療(幹機)日曜祭日午前中

路二大〇六日

.

寒

お

かぜ御用心!

No.

内

は

わがヘブリン丸こそ、

多天意珠式會社 まことのかぜ楽デス

配達は飛行式 日華洋行 電話三三四三番

田

画

廣告の御用は

電話三三〇〇番~

外皮科局 度お越しを願ひま 性泌 病尿 科科 亭塘雪 同 醫院

電話三人三〇番

のみのコパタ

消をが粉かれている。

は一番手

新京にし

伊*カスモ 注でパック ら

分が血ご 盛立てる これはこさん 飲むだけでい 健康法ではな に於いては全く偉大 **リグン**) 然しその含有成 なり肉を附 、こ健康を この效果 ので 只





るた執政府正門は十一日に 一日神即位式の間に合せる べく変表象・工事を急いで

執政府正門完成

り政府提出の法案其他の

●野人民委員會観長を D → 氏は左の加く力説した 氏は左の加く力説した

さ、五ク年計費は果して成功。蘇聯に終ける社會主義的諸

サ 東た様である、第一次五夕年 ・ 動け通しに聴けて果た関長は ・ 動け通しに聴けて果た関長は ・ を参用機の像に達し、外貨吸 ・ の が の で の ゴールに

ソ聯計畫經濟建設期に入る

肥躁的收穫に及し糞んで曰く成功さ一九三三年度に於ける

横さの観浄はさっか に入つてテンボを緩和し(二)五ヶ年計畫は単二次計畫

「蘇切の國土はその途上に

内経濟はめつまり良くなつて

その對

日外交變調さの關聯

菱刈大將の意義深き通過初め

日編側の冷静終止髪らざる歴史が放送する動日外交の髪間、酵場幹面が放送する動日疑心の宣傳はが放送する動日疑心の宣傳は

各國さ不侵い條約を締結するのでで、蘇聯外受は川東征のでは、蘇聯外受は川東征ので

十二日の氣温最高等下九分散

天氣と氣温

態度一まれてある 政友會では其最重要政

ける方針であるが、 同派の道とを貼過するが加きこさは遊さるものである以上

近の陸州強相の更迭により箸

開告が帰れまるが、 流線改組 間既に騙し各派 (本の) 貴族院では流洲

二、哈爾賓鐵路局 拉賓線。一、吉林鐵路是 京圖全線

麥借欵を

現金借欵に變更か

米國之に總ずるかは疑問

貝院豫算總會賑はん

一、季天破路局 奉山

奉山泉。雜

五名字子 (東阜園当)赤化司法官中執行務除の書記等は服罪したが西嫗は即尊に控訴を申出で尾橋。瀧内、島成は豫明に反したが高護士区控訴を申出で尾したがこれも控訴した。電

を誘閉さして省額を行つた

まする時は政民東魏さら大体 を関院本會議には弾算案を上 をし、神忠通り原案可決の見 をし、神忠通り原案可決の見 をして政府さしては業績院に を上 一今回 柳方側を明 かけるけん

してるる。 從つて政友會は最 のも如くである に於ては断秀之を排撃せんさ 對し番はするの方針を対 に於ては断秀之を排撃せんさ 對し番はするの方針を対 に於ては断秀之を排撃せんさ 對し番はするの方針を対 に対して致權獲得の如きも 整の立場より之を支援。

「東京國の」政府は米穀對領に於て 十三日の衆議院本會議に上 中島明相解職の如今

だにしなかつた尊氏問題から

を立案中の噂念よ成案を得た 行連絡の統制を経營の合理化 を励るさ共に各路の整理整合

| 上記12| 増力を放C ン、チチハアの四級務局が統定を映義的變化等を る答で同案によれは北壁全線を映義的變化等を

會期三分の一を經過 某所着毗胸京某有力者於宋子

政戦の舞臺は貴院へ

蔵曾後の政變を見越し策動

フトン特性に依ろさ、米明のユニーヨークタイムス紙が 銀復位案骨子 る。右は大阪州丁県英剛會で が 食明が離れたる一級明家の手 年 はよつて完成されんさしてる は

近く試験飛行を行ふ

元、毎長官學本級夫中將、第八一中將、技術本部長候補に選四師職長寺内得問間で見り

節間長西穀一中料。臺灣軍団又東京警備門令官候補に新八

任中將 (名通)

第一師閩闰令邸附少將 字佐美典量

四、二、一、六、の師闡是氏廠長官岸本綾夫中時、節

が。これが試験飛行には多大には職飛行を行ふこさしなつた。 これが試験飛行に復頭して居た

りを の注目を集めてゐる。 同機は に二十七賞のロボラ

整備局是林柱中裕叉教育機監察、關東軍為謀員小磯國明中縣、獨東軍為謀員小磯國明中縣、獨東軍為謀員小磯國明中

て粉糾を見るべく難想された「東京図書」機材図額によつ

つ たが、既府が政友會の帰硬態でなったが、既府が政友會の帰硬態がなってまれた。 の の で 常い院は十二日午 なったので 常い院は十二日午 なったので 常い院は十二日午

動きが繁くなるものさ見られての動きや映戦研製問題等の

府は銀の復位を断行し、

→ 全住業代 一 に移る即が に移る即が

電波で飛行機操縦 隱れたる發明家の手で完成

1、大統領に對し正貨準備の「多務節」ほごなつた左の緊急を持手は左の如きものである「民族大會準備者本會議に終て「大連動脈」本十二日原細亞目下具体的成案を繰りつしあ「鄭總・理」に打電

棉花賣行ないため

行はれた場合には金銀比仮計し五割方の平仮切け下を を一勢三十二さする

てゐる、の定せるものは左の 権移に関係あっさし往目され 管であるが右は今後の政局の

人材主義で部内の副新を闘る人材主義で部内の副新を闘る人材主義で部内の副新を闘る 工具學校長少將 佐村全雄 士官學校幹事少器

朝鮮軍司合官中將 任大將

人材主義で部内を刷新 親之

陸軍異動は

居拔ノマ、格安ニ譲リタシ他ノ何商賣交具品商、病氣歸國ニツキ商品及一切及具品商、病氣歸國ニツキ商品及一切を具品商、病氣歸國ニツキ商品及一切 4 ニモ適ス御希望ノ向ハ下記へ來談アリ 3 析京三笠町

梅屋旅館內 坂

大塚堅乙助

本は有の大盛儀に心からお慶び申し上げませう 本の大盛儀に心からお慶び申し上げませう 祝滿洲國皇帝即位紀念 祝

科 B

販賣、其他電氣工事一般 毒器貸付、電氣器具材料 蓄電池並ニ充電、電話、消 電 鈴 ラヂオ 話鈴灯機 電交

(日滿外交員數名入用) 口電話の御用一切は 大通電氣工業验會社 電話 一三五番

新京朝日通六九

東邊道縱貫鐵道 敷設を請願

道の建設に儲し午回安東縣 段奉慶智鎮 請願の件 念よ御清祥に被以沙検

られ。國境僅かに一條の鴨緑 之自然の地形は山岳に閣繞せ 之自然の地形は山岳に閣繞せ

選擧改正に

全力を傾倒政府鞭撻

科會を明幸各職の態度を決定(東京前通)、日の國會は貴族院は休安し業誠院では本會

年間音を乗切る方針である 豫算案の

属内大同團結運動は放任

政友會今後の方針

満鐵改組を

國務院會議

洗菜泉。實化線 實化線主他 實化線主他

赤化司法官被告

一、簡明局官職

二、减弱院各部(實業)官制修 負十時から國務院會開館に於 日本十二日午 四分の三を金、四分の一を銀さする旨を布告する権限を現へるの、現在未滅に有る貨幣用機を関へるの、現在未滅に有る貨幣用機を関へる

さして観境の形に於て之をを全部收容するさ共に理在 及び格束に於る頭貨の準備

右の銀復位案に對しオクラ本

午後二時執政府で行はれた

沈府中令親任式

は合。全銀比價を一尉二十 し約四割一分方の平價切下 し約四割一分方の平價切下 度位案を主張してゐる トーマス氏は左の加き場合のヤ州聡出上院職員エルマー、 三月一日の

亞細亞民族大會準備委員會で

州國の帝政實際につき就為を一に一任を決定した 版生素鑑支部音田会計氏は漢一理に可決。力法其他は事務局 連備委員會は本會體に於て太 提出し漢葉一致異國なく拍手 連備委員會は本會體に於て太 提出し漢葉一致異國なく拍手

民各位

新京滿鐵地方事務所

商

中左記各項側合でノ上機分ノ物財ヲ絢願致シマス 一般市民ノレカラナル御協力 立使フコトトナリタルニ就 一般市民ノレカラナル御協力 立使フコトトナリタルニ就 一般市民ノレカラナル御協力 立使フコトトナリタルニ就 一条 かっぱり 一日 満洲 國例大具 二名リ 名階 周地 単 が テモ 満州

満洲國に帝政實施の 祝意を表明す

打戦した

赤津さん赴任

らし、評談的には資源を開発 で通の完備を明するに政治的 には治安維持文化の向上を記 野富なる天然資源も徒らに死に行はれるのしを以て殆き細に行けれるのしを以て殆き細となり民意安んせす 破し居る財態に有之餘 不堪兹に理由普添付此段及騎相成機御高配を賜り度切望に

江を以て唯一の交通路させる

榜の狀態に重大なる翻译を有像、就面電鉄地方の治安並経 会を要するもいさ思考せられ

製被成下。速かに本職道建設する安東全居住氏の熱意御賢

福建の共産軍

乙渓に排る共産単約四千は際 延平城砲擊

江南岸を北地、洋口沈を陥れ 正に十日延平南方の要所青州 線を占領、十日を延平郷外に 現はれ延平域砲撃を開始し目 下中央軍を激戦中、延平の中 央軍は第五十二、条八十五。 八十六の三ケ師四馬で、第八

嘴類 慶祝費寄附金募集廣告

東洋 拓殖 大支店 衛 解 解 銀 行支店 職 銀 行支店 銀 行支店

陈 時休業 舊曆正月に付臨時休業仕候

十六日の三日間

(-1

大典豫行演習參觀は

同大街が可

來る廿七日午前五時半から

6式典の2月演習を行ふこ

盛儀を機に

逆産處理法を中止

慶以報より表面布数を名さし が移覚し、俄黙警局の活動さ なつたが、その内容は備別事 なつたが、その内容は備別事

張實業部總長の

めでた

目的の大半を達し

60で、二十七日午前万時平5二十日には、新京に到着す

一記念一 すべき歴史 るが、順天族場の郊祭式場も るが、順天族場の郊祭式場も

『將士慰問の會』開催を計書

白系露人が

本本体は燦然さ光る間花の御紋 も便利であらう まごより、嬰所要所の臨時派 から輝しく、執政府から朝日 出来でいっていこの虚儀を 出来でいっていこの虚儀を 出来でいっていこの虚儀を 出来でいっていこの虚儀を 出来でいっていこの虚儀を 出来でいっていこの虚儀を お召自動車を使用しい、乱紅のの大同大街で参観するのが最 お召自動車を使用しい、乱紅のの大同大街で参観するのが最 本事体は燦然さ光る間花の御紋 も便利であらう

國立科學研究所

では程々化念事業計進を進 ・ は長の関に牢配するため講習 ロ

同三辞五分韻火した原因はペートニ日午後二時五十五分ごろ 市内富士町四丁目十番地嶋田 連選法の貸家から出火したが 同庆事務員が發見し新京消防 際に急報消火に努めたので大 事にいたらず床一坪を縄矢し 歴新京に設立され朝野のエキオの元が、これが實現の職は であるが、これが實現の職は であるが、これが實現の職は であるが、これが實現の職は であるが、これが實現の職は

隊の

永沼挺進

讀者から

松書動

取職ペ中である

ペーチカの

九千三百六十六圓七十三錢棉一九千三百六十六、金額十九萬 郵便局の預金

田村中尉電月上等兵の忠魂碑 中1日惣家屯を練る的一哩の 中2日惣家屯を練る的一哩の 戦歿者追悼會

出二千三十口、十二萬二千四百三十三國五十七銭でこれを再變額である昭和六年一月の頂金に比べるさ口数で三千大百二十八口、金額で十五萬一千六百二十二四三十三銭の被响である

州〇県麾下の 寺尾支隊 七日鉱京の予定

禰洲攪亂を企圖せる

吉林天主教外人逮捕さる

陰謀の全貌暴露せん

が移襲し、俄然震動の活動さ、弱り果て顔色蒼白見るも哀れ、明確される流域中等単校會經宗教順体が創策してゐた事實(氏は排はれの生活に身心共に、十四日から十六日まで大連で優凱大陰謀を審林に於ける某(の無事生選を涙して迎へたが、二二校長・大連へを前に十日はから中も満洲國(女人等多數出迎へ、何れもそ)二一校長・大連へ「一二校長・大連へ「一一大美」 六日まで大連で 六百の匪を残滅 兆與鎭西南方で

女史さ十日午後三時大和本燕 順氏は 既報の如く安 恵 成心中の畑〇順曜下の寺尾支 山沿岸江省内の残留匪討伐に 代の廣瀬〇鷹さ聯合し松花 ハンの通」方林省肥敷

して十三日からマスクを使用して十三日からマスクを使用

政権に依り又は之を背景さし ・ できれた満州遺は その趣園 ・ できれた満州遺は その趣園 ・ できれた満州遺は その趣園 ・ できませるため「逆産の経済」を創金して舊

度化することになった ・ 関変しこれが處分を行ってる ・ を明さしてこれを打ちきり逆 ・ を明さしてこれを打ちきり逆 ・ を明さしてこれを打ちきり逆

排削してるるを避見し尾行中。 が人のポケツトに手を入れん が人のポケツトに手を入れん

抗日陰謀計画で、首謀者敬名吉林天主教の人宜數師の反論

不常な私利を闘つた者等を

化局百貨店でスリ八件を働い 便勤百貨店でスリ八件を働犯人は昨年八月ごの来席し

百千日

山內氏無事歸哈

人質生活

電々會社大馬力で

家屯。十三日大屯。十五日孟 野家地方事務所では十二日粒 沿線慰安映畵會

福僧を催す。孫員三名は十六家屯の日曜で在住邦人版安映

斷水御通知

▲松本寅市氏(愛媛縣)朝日御

日時 四時まで 二月十五日午後一時から同 二仲フ停取ノ島左記二依り版水

た。資傷者は弁の頭もであ 昭和九年二月十日 市街全般 もり映宮機を病帯出致した 大隆洋行進出 新京地方事務所

▲山田廣治氏 (鳥取蘇)朝日

氏(題見島縣)懷

して非仕致するへで

茂林廟で行はれた。

成吉思汗祭

事變後初めて行はれる

る空氣に時ならの音波を

五個、外一國時移轉、執政府

の外無電ー回線を併出す ・電信単新京東京観ー回線 ・電信単新京東京観ー回線

小事校会の大綱が決定したさ

郵便局、百貨店の

諸教育合

進捗を物語る

スリル港浦 スリル港浦 スリル 地質の 一大リル 地質の 一大リル 地域の 一大 の 他市内の 整備で照々さしてスリ被害が 解京署に 国びられるので 同者で 展力犯人 授金 かっこころ 十一日 午後九時ご

燃を含華仕を貸すべく十日大 間の 関右の 御大典に際も高遠

大典前後のサービス

無い突込んだ質問をなし、

十一日午後三時ごろ市内朝日十一日午後三時であり、一十五番地先で施々技町三丁目十五番地有馬車米朴明俊(三五)は開近で弾戯者の東是路町牌六十四號器販賣業部東祥氏の三女来小見(三)を機殺した。居山に接し断京者から保

「ハルビン園通」昨年十月末 ・ で富錦より雷地に舞事時楽 ・ で富錦より電地に舞事時楽 ・ で高錦より電地に舞事時楽 ・ で高錦より電地に舞事時楽 ・ で高錦より電地に舞事時楽 ・ で高錦より電地に舞事時楽 ・ で高錦より電地に舞事時楽

整傷 十四名 井出紫檀 五年生の 内の改造もなつて去る力日よ はこの程いよく「新京に進出 り目集の選びさなり珍しい印 レブービジャマ、婦人装

尚業學校

後間山荒れる

自二時又もや二回職動帰継傾前情報通」淺間山は十一日

正)午後季時から高月町家事目前者主催・来る十四日(荷

日菊會主催

慰安かるた大會

た大會を催する 講習所で家事読習生慰安かる

大山木廠主

撫順炭の

5

せ

パラチフス 一名發生

い光景を呈した

魯正月も一日も休みません

御用は是非…!!

配達致します

十四日滿鐵中等學校長會

兼タフエー雇人曲誌m(二十大) 閣汝林(四二)及びモ四條通り 同日午後二時崩壁層院に入院 の例人は八日健康 日パラテプスミ決定。所で保閣協査をした結果 診断でパラ ▲呼奥湖カニ十六番地 宇戸 田東氏長男総さん大日出生 田東氏長男総さん大日出生

信氏長女玻璃子さん|||

を木然に防じべし火流であつ 高時に大消器を行つて低染病 を木然に防じべし火流であっ 商業校で マスク使用 鶴次氏長男帰さん五日出生露月町二丁目卅八號 田中 田與八氏是女ナオさん十一年安町一丁目十一番地山

平安町一丁目三香地 岡崎 居住消息 氏十一日午後二時二

☆ 6 住者町二丁月六番地二

から花園町二丁目八番地二 ▲永川期二氏〈大阪府〉永樂器 窓次第氏。兵庫縣) 選米

▲山杉寶久氏(鳥取縣)吉林か ▲網戸武夫氏(京都府)粉衣町 山口申定氏(兵庫縣)初日個 「田二国二国に野薬

荷氏(栃木縣)人船町三

物織品產製度印

開店紀念大賣出し

●好機逸せず御買求めを上!

原に参りまして此度 京に参りまして此度

した新切叮嚀をモラ ーさし皆様の店さ

各ドレス生地

印度製ド

婦人裝身具

チョハル

支本店店

ハルビ

人船町三丁目七

▲永淵忠天氏。四二條通り数

十一番地から明日面の四十七番地へ

参加から呪町二丁目四番地柳川単雄氏。大和瀬四十八

十七番地から入船町一丁四

春の訪れ!

百貨金 老

電洋

スマートな

大

日

きさしてる

以四十八百九千三条

爪顏

術術髮

フリ

ジャ美容室

中央領大阪展験自行

△道明寺

丸

平洋行

の葉

大根の味噌漬 株 茸 辛子 漬

角目丁一町野音

(B

(可謂物更多建三音)

年 九 和 昭

0.0

業

水醫院

曜町二丁目井

(京二條頭受容四)

內科。

外科。

花柳病科

產婦人科、耳島咽喉科

煖

房

I

道

衛

生

I

設計施行料理

御一報次第店員参上可化候●

新京岛七川大丁目

商會

個りの方から被戦のながし質がW 来てくれた際にむかつて居ると表

その親気にほだされて、彼女は

がついつそ風之道を翻して、それ せつせと手を動かしてゐた。

ひたいので研座りまする

南生 岛 龍田

こつて居てて、起上る架力はなか 魔質彼女は昨日からの類づかれ 服装の盲目の女あんはをつれて東 った可を得たらしくやがて薄汚い 女中は去つていつたが、家の歌

たい、死んだがかでしてある。死れた身後を持つて配ることは出来れた身後を持つて配ることは出来れた身後を持つて配ることは出来 定であることは一目で知れた。 正しく高州吉兵衛の思ひ春のお そのかほを見るとおはるはどき 「お呼び下されまして有がたう

按照らしいこわ色をつかつてこ 其間へ単すとていねいに検修して 先子野からもみ始めた。 から、お客の方へと進みよってい 「之は、大脚、腰つてをりまず お定の偽装した盲目の女授職は

原年の事ながら、此の頃は底びで、冷込みから腹痛、下痢を起したり、一旦よくなつてゐた胃腸カたり、一旦よくなつてゐた胃腸ウェナのが一般にして胃腸に、それが際山あります。 たぶかが動信にして胃腸に、それが悪い影響を果へるかといひますと、元本を、胃腸が滑化酵素を分し、又全質ので、胃腸に、それのでは、大大な、胃腸が滑化酵素を分し、大大な、胃臓が消化酵素を分し、大大な、胃臓が消化酵素を分し、大大な、胃臓が消化酵素を分し、大大な、胃臓が消化酵素を分し、大大な、胃臓が消化酵素を分し、大大な、胃臓が消化酵素を分し、大大な、胃臓が消化酵素を分し、大大大な、胃臓が消化酵素を分し、 消化吸收の作用を を対象には、血液が活激に胃腸の を対象には、血液が活激に胃腸の

早く年をとる

便秘と腸中

れ。単で、それで「胸内をは、水準性となって、 をできなが寒中のをです。 をできなが寒中のをです。 をできなが寒中のをです。 をできなが寒中のをです。 をできなが寒中のをです。 をできなが寒中のをです。 をできなが寒神のをです。 をでするのです。 をあったをでする。 をあったをでする。 をあったをでする。 をあったをする。 をある。 をある。 をある。 をある。 をある。 をする。 をする。



癌疾の慢性となる



いえ込みから起る 冬の胃腸カタル 下痢が長びくと永年の

のなかつた人で、ヘーフェ樹村関土の「転用しだしてからは、豊富かなくなつなって、風邪もひかなくなった。 関係は、一般です。 神科関土の「転削わかもとこのヘーフェ菌を活性のました。

痼疾となる事があります



文しても、まはり来る首の音を聞 のででは、まなり来る首の音を聞

お定はお眠の耳元へ口をつけては た。身体にはまだ何こともありま

打の値かんざしを手に握つて握言

女中はお客が食べ終った器を下

けて出ていつた。

罪をしとするめられた。 で 間かました。今よひ変の類弦に響いました。今よひ変の類弦に響いました。今よひ変の類弦に響いませずが、 それとも此の折断

計らつて青気能が自身でおむかへと 定出郷ませうほどに、その原を見 いまかの者は火消役なれば必

永年の便秘から

私はかうして数はれた